

担い手確保に関する北海道教育委員会への要望

日時 令和5年1月18日(水)10:00～

場所 道庁別館 7階 北海道教育委員会 教育長室

1. 要望項目

建設業の就業者の年齢別構成比で50歳以上の就業者比率は55%を超え、高齢化が進んでいる一方で若い人の入職が進んではいない。

少子化により若年層の人口が減少する中で、工業高校などでの建設技術を習得する学科の入学定員が縮減され、建設技術習得の教育の場が減少していることから若者の入職者数が増加しない状況となっているため、以下の要望(要望書参照)を行った。

- ・工業高校において建設業へ入職するための基礎的技術を習得する授業が受けられるような総合産業学科(仮称)を創設し、その中に土木コース、建築コースを設定していただくこと
- ・全道で工業高校のない地域の普通高校でも総合産業学科(仮称)を創設し、その中に土木コース、建築コース、機械コースなどを設定していただくこと

2. 出席者

〔道協会〕 岩田会長、萩原副会長、中田副会長、栗田副会長、山崎専務理事

〔道教委〕 倉本教育長、堀本学校教育局長、谷垣担当局長、山城課長、岡内担当課長

